

琵琶湖 淀川 アクア辞典

花 flower



春から初夏にかけて、琵琶湖・淀川上下流は花でいっぱい。
水辺のゆたかな自然を背景に、多彩な色とかたちを楽しませてくれます。

中でも個性的な花を集めた「琵琶湖・淀川 花事典」
花をとおして、わたしたちのまわりの水辺を
もう一度見直してみませんか。



湖岸で育つ海浜植物

ハマヒルガオ

北湖全域の砂浜ではおなじみの植物。
5月から6月にかけて、砂の中に
白い地下茎をはわせ、ろうと形を
した淡い紅色のかわいい花を咲かせ
ます。琵琶湖の砂浜には、ハマヒル
ガオなど通常は海岸で生育する植
物（海浜植物）が生息していて、他
にはタチススシロウ、ムダインコ、
ハマエンドウ、ハマゴウの4種類の
海浜植物が知られています。

曇りの日には閉じる花

キクザキイチゲ

琵琶湖にそそぐ愛知川の中下流の
両岸に続く緑は河畔林と呼ばれ、
数百種類の植物が生育するゆたか
な自然環境で有名です。早春にヒ
メエンゴサクの青い花が咲くと、そ
の次はキクザキイチゲの開花の季
節です。白と淡い青の二種類の花
があり、群落をつつて咲き誇る姿
は見ごたえがあります。朝と夕方、
天気の良い日には花が閉じてしま
うというのも面白いですね。

初夏に咲く

水生植物の代表

ハナシヨウブ

ハナシヨウブは日本原産のノハナシ
ヨウブを品種改良して、大きく色
鮮やかな花を咲かせたもの。5月
の下旬から6月下旬にかけて、紫
や白の大輪の花が池の水面をおお
つて咲き誇ります。新旭風車
村の他、野洲川にかかる水口大橋
の左岸の河川公園などで鑑賞用
に育成されています。

外国生まれの 菜の花の仲間

セイヨウカラシナ

春、淀川の堤防や河原を歩くと、あ
ちこちでかわいい黄色の花がよく見
られます。水辺を一面におおつ花畑
きれいですね。これはセイヨウカラ
シナという菜の花の仲間で、もとも
とは外国から来た帰化植物です。
近年になって淀川沿いに急激に増え、
おかげでモンシロチョウをはじめ菜
の花を食べる昆虫や、花につくアフ
ラムシを食べるテントウムシ、蜜を
求めてやってくるミツバチなども集ま
るようになりました。枚方から淀川
大橋まで、黄色い花の帯がえんえん
とつながる風景は見ものです。



原野を鮮やかに染めて

ノウルシ

琵琶湖と淀川流域には、多種多様な植物がモザイ
クのように混じりあって生息する「原野」と呼ばれ
る環境があります。ノウルシはその原野を代表す
る花のひとつです。湖岸のヤナギ林やヨシ原で生
育し、花が開く春には、黄金色のじゅうたんを敷
きつめたような美しい景色が広がります。中でも
安曇川の河口に近い湿地帯には約5kmにわたる広々
とした原野があり、ノウルシの大群落がみられます。
琵琶湖の原野には、ここだけで見られるオニナルコ
スゲなど貴重な種類も生息していて、ゆたかな自
然を育んでいます。

唯一の春咲きアザミ

ノアザミ

春の間、淀川の河畔のやや湿った草地
でもっともよく見られる花のひとつです。
日本に約70種類あるといわれるアザ
ミの中で、春に咲くのはこのノアザミ
だけ。1mくらいの高さにはびんと立つ
た茎、淡い紅色の花、ぎざぎざのある
葉。特徴のあるスタイルは、河畔の散
歩でもきつと目に飛び込んでくるよ。

